

令和2年7月13日	
所 属	園田小
所属長	柳 一光
電 話	06-6491-7080

オンライン授業を活用した新しい交流授業のカチを実現！ 福島県と兵庫県の学校が合同プログラミング授業を実施します

尼崎市では、ウィズコロナを意識した新たな授業形態としてICTを積極活用した学習の取り組みを進めています。

この度、距離を超えたコミュニケーションを容易に実現できるICT教育の利点を生かし、7月16日に福島県の小学校と共同でプログラミング言語「viscuit」※を使ったプログラミング授業を試験的に行います。同授業では、オンライン会議システム「ZOOM」で教室と教室を繋ぎ、viscuitの作品共有機能を活用することで同時に互いに鑑賞したり、意見を出し合ったりするなど、交流を深められるよう工夫します。地域や文化を超えたコミュニティとの交流を通して、子どもらの多様・協働性を養成する機会にし、共感力を身に付けることを期待しています。

今後は本授業での成果や課題を洗い出し、新たな授業形態の一つとして提案していきます。ぜひ、当日の様子など御取材いただきますようお願い申し上げます。



事前授業の様子

1 プログラミング授業の概要

日時：7月16日(木)午後1時45分～2時30分

場所：園田小学校 西校舎2階 コンピューター室

交流学級：福島県棚倉町立社川小学校 3年1組 (17人学級)

兵庫県尼崎市立園田小学校 5年4組 (38人学級)

2 プログラミング授業内容

▼授業名「バーチャル花火大会を通してコンピューターの得意な事を学ぼう」

花火大会の中止が続く中、仮想現実で花火大会を開催します。児童がプログラミングした花火を共有画面に映し出し、互いに鑑賞した上で感想を発表します。また、プログラミング体験を通して「繰り返し」「正確」といったコンピューターの性質を学びます。

3 当日の取材申し込み

当日、本授業の取材していただける場合、授業前日7月15日正午までに電話で園田小の林（携帯：●●●●●●）へ御連絡ください。

※viscuit (ビスケット)

子どもや初心者でも直感的に分かるように開発されたビジュアルプログラミング言語の一つ。日本のプログラミング言語の研究者、原田康徳が開発したもので、自分で描いた絵（アイテム）を使って、メガネというツールでアイテムに動きや指示しプログラミングしていきます。

以 上